

2019.10.24 &lt;計2枚&gt;

京都大学記者クラブ加盟社 各位

立命館大学広報課

**-学校法人立命館とギネスワールドレコーズジャパンが連携-**  
**より良い社会の創造に向けた「MIRAI CHALLENGE PROJECT」始動**

学校法人立命館は、ギネスワールドレコーズジャパン株式会社と連携し、学生発の「より良い社会の創造」を目指すことを目的とした「MIRAI CHALLENGE PROJECT」をスタートいたします。このようなテーマで教育機関と2030年を視野に入れた長期の記録挑戦プロジェクトに取り組むのはギネスワールドレコーズジャパン株式会社として初めての試みです。

立命館学園は、2030年に向けた学園ビジョン「挑戦をもっと自由に～Challenge your mind Change our Future」を策定し、ダイバーシティ&インクルージョンを実現する学園を目指すなかで、世界に共通する課題解決に向けて、持続可能な開発目標(SDGs)の文脈から「より良い社会の創造」にチャレンジしています。ギネスワールドレコーズジャパンは「自身の可能性を追求する人々の刺激となること」を目的に、世界一へ挑む人々を奨励するとともに、世界に表れる事象を収集する活動を行っています。

このたびの連携により、SDGsへの取り組みをはじめ、より良い社会の創造に向けて立命館学園の学生・生徒・児童たちがアイデアと行動力で、さまざまな課題解決を目指します。また、ギネス世界記録への挑戦を通じて、チャレンジ精神をはぐくみながら、広く世界へ思いを発信していきます。

【プロジェクトアイデア例】 ※詳しくは別紙をご覧ください。

- ・琵琶湖の水環境を綺麗に-「オオバナミズキンバイ」駆除プロジェクト-
- ・すべての人に健康と福祉を-Health Care プロジェクト-
- ・ロスゼロカレーサミット in アジアウィーク-「ロスゼロカレーサミット」プロジェクト-
- ・誰一人取り残さないキャッチボールクラシック-キャッチボールクラシック・プロジェクト-

●仲谷善雄 学校法人立命館総長(写真左)のコメント

ギネスワールドレコーズジャパンとの連携により、「世界記録」という目標に向かって学生・生徒・児童たちが行動し、「より良い社会の創造」に向けてチャレンジしていきます。

●石川佳織 ギネスワールドレコーズジャパン代表(写真右)のコメント

ギネス世界記録™は、誰もが世界一になれる可能性を秘めているということを世界中に伝え、その可能性を追求する人々を刺激することを目的としています。ギネスワールドレコーズは、立命館の学生の方々が考える、より良い社会の創造に向けたミッションを、記録挑戦を通して、世界に向けて発信していきたいと思っております。



●取材・内容についてのお問い合わせ先

立命館大学広報課 担当:名和

TEL:075-813-8300

# 立命館ギネス世界記録挑戦プロジェクト —MIRAI CHALLENGE PROJECT

## 立命館のチャレンジの種（アイデア例）



### 琵琶湖の水環境を綺麗に

#### 「オオバナミズキンバイ」駆除プロジェクト

2017年夏に琵琶湖周辺で繁殖を続けている特定外来生物「オオバナミズキンバイ」の絶滅に向けて、立命館大学の学生約1150人が大津市の琵琶湖岸で一斉駆除活動実施。現在も活動を継続中。駆除したオオバナミズキンバイの文字アートに挑戦。



### すべての人に健康と福祉を

#### Health Careプロジェクト

びわこ・くさつキャンパス（BKC）が位置する草津市では、「生きがいをもち健やかで幸せに暮らせるまちの創造」を目指し、各地域で健康増進の取り組みを実施。スポーツ健康コモンズでは、地域住民向けの多様なエクササイズを提供。BKCならではの健康増進への取り組みに挑戦。



### ロスゼロカレーサミット inアジアウィーク

#### 「ロスゼロカレーサミット」プロジェクト

毎年秋に開催されるアジアウィークで50ヶ国の人（留学生）が50種類の自国料理をふるまう屋台を出店。地域の方といっしょに「食べるギネス世界記録チャレンジ」でフードロスについて考える契機とする。チャレンジタイムには50ヶ国の人が一斉に近隣のスーパーからの「廃棄」食材を使ったゼロ円メニュー（カレー）を製作することに挑戦。



### 誰一人取り残さないキャッチボールクラシック

#### キャッチボールクラシック・プロジェクト

毎年春に開催される『いばらき×立命館DAY』で、小学生以上の学内外の9人制キャッチボールチームを募集。4人と5人に別れて順繰りに3分間連続でキャッチボールをした回数を競う。予選を実施し、全チームが参加することで、キャッチボールを通じて、相手へのリスペクト、チームワーク、健康、差別のない世の中への意識付けを促す。現在のギネス世界記録3分間160回以上に挑戦。



※プロジェクト内容や記録挑戦内容は現時点でのアイデアです。